

宮城県の食育関連事業

【重点施策1:食を通じた健康づくり】

プラン1 生涯を通じた健康づくり プラン2 健全な食生活の実現

事業名	平成24年度の実施状況及び成果	平成25年度の計画	予算額(千円)	
			24年度当初	25年度当初
1 みやぎ21健康プラン推進事業 (健康推進課)	<p>少子高齢社会を健康で活力あるものとし、県民の健康寿命の延伸を図るため、平成20年度から新たにスタートした「みやぎ21健康プラン」を着実に推進し、県民健康づくり運動の機運の醸成及び健康づくりを支援する環境の整備を図ると共に、前年度実施した県民健康・栄養調査の結果について普及を図り、みやぎ21健康プランの達成度評価及び次期計画策定を行なった。</p> <ol style="list-style-type: none"> みやぎ21健康プラン推進協議会の開催 みやぎ21健康プランの評価のためのワーキングの開催 みやぎ21健康プラン見直しに係る専門家等ヒアリングの実施 市町村健康増進計画策定支援 みやぎ21健康プラン推進のための普及事業 	<p>少子高齢社会を健康で活力あるものとし、県民の健康寿命の延伸を図るため、平成25年度からスタートする「みやぎ21健康プラン(第2次)」の進行管理を行うと共に、効果的かつ継続的な推進を図ることにより、県民健康づくり運動の機運の醸成及び健康づくりを支援する環境の整備を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> みやぎ21健康プラン推進協議会の開催 みやぎ21健康プラン評価委員会(有識者ワーキング)の開催 地域・職域連携推進部会 みやぎ21健康プラン推進のための普及事業 	1,911	2,541
2 メタボリックシンドローム対策戦略事業 (健康推進課)	<p>本県はメタボリックシンドローム該当率が全国一高いことから、キャンペーンを実施し、県民のメタボ予防の関心を高めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 脱メタボキャンペーン事業 <ol style="list-style-type: none"> メタボリックシンドローム改善標語の募集及学習会の実施 メタボ予防キャラクターの募集及び学習会の実施 メタボ予防に関する啓発・普及及媒体の作成 親子でメタボ予防イベント 階段利用キャンペーン メタボリックシンドローム予防なび運営 	<p>本県は、H22年度メタボリックシンドローム該当率が全国ワースト2位になったことから、脱メタボキャンペーンを実施し、次世代を担う若い世代等へ普及啓発を行い、県民のメタボ予防の関心を高め、県民総ぐるみで全体の底上げを図り、メタボワーストを脱出する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 脱メタボキャンペーン事業 塩ecoキャンペーン みやぎの朝ご飯プロジェクト 親子でメタボ予防イベント メタボリックシンドローム予防なび運営 	2,491	5,246
3 地域栄養管理対策事業 (健康推進課)	<ol style="list-style-type: none"> 地域栄養管理事業 <p>身近なかかりつけ医のもと糖尿病等療養者が栄養 食事指導を受けられるよう、地域活動をしている管理栄養士の掘り起こしと資質向上を図るための研修会開催。</p> 食品表示の適正化に関する指導 <p>販売する食品に対し、健康増進法に基づく製造販売業者等に対する指導及び普及啓発</p> 	<p>みやぎ21健康プラン及び地域の実情に応じた栄養食生活指導を推進していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 保健所における専門的栄養指導 食品表示の適正化に関する指導 <p>販売する食品に対し、健康増進法に基づく製造販売業者等に対する指導及び普及啓発</p> 健康づくりのための食環境の整備推進 	624	451
4 食生活改善普及事業 (健康推進課)	<ol style="list-style-type: none"> 脱メタボ！野菜をもっと食べよう普及事業 <ul style="list-style-type: none"> 野菜を食べよう講習会(75回, 1,661人参加) 野菜を食べようキャンペーン(9回, 3,393人来場) 食生活改善推進員の活動育成支援 <p>県内各地区で、食生活改善推進員の育成支援実施</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 脱メタボ！野菜をもっと食べよう普及事業 <ul style="list-style-type: none"> 野菜を食べよう講習会 野菜を食べようキャンペーン 食生活改善推進員の活動育成支援 <p>県内各地区で、食生活改善推進員の育成支援実施</p> 	1,412	1,269
5 歯科保健事業 (健康推進課)	<ol style="list-style-type: none"> 歯科保健推進事業 <ul style="list-style-type: none"> 歯科保健推進協議会 1回開催 8020運動推進特別事業 <ol style="list-style-type: none"> 乳幼児むし歯予防総合教室 小・中学生体験歯磨き教室等 歯科保健対策総合強化事業 <p>4, 5歳児むし歯総合対策強化事業など</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 歯科保健推進事業 <ul style="list-style-type: none"> 歯科保健推進協議会 2回開催 8020運動推進特別事業 <ol style="list-style-type: none"> 乳幼児むし歯予防総合教室 小・中学生体験歯磨き教室等 歯科保健対策総合強化事業 <p>フッ化物洗口導入モデル事業など</p> 	20,025	14,034
6 はやねはやおきあさごは ん推奨運動 (教育企画室)	<ol style="list-style-type: none"> 全市町村ヘリーフレットの配布などの啓発活動 子育て応援すこやか2012へのブース参加による啓発活動 県庁内関連取組の集約 関連事業担当班長会議の開催 早寝早起き朝ごはん実行委員会in宮城との連携 	<ol style="list-style-type: none"> 取組事例ホームページ掲載 リーフレットの配布などの啓発活動 着ぐるみによる普及啓発 子育て応援すこやか2013へのブース参加による啓発活動 県庁内関連取組の集約 関連事業担当班長会議の開催 早寝早起き朝ごはん実行委員会in宮城との連携 	非予算	非予算

事業名	平成24年度の実施状況及び成果	平成25年度の計画	予算額(千円)	
			24年度当初	25年度当初
7 基本的な生活習慣定着促進事業 (教育企画室)	1 フォーラムの開催(総会) 2 優良活動団体の表彰(小中学校等12団体を表彰) 3 平成23年度受賞団体(14団体)の取組実践紹介パネル作成・展示 4 会員団体の取組の紹介 5 パンフレット(中学生版)の作成と配布(85,000部) 6 会員団体の募集・勧誘(新規登録6件) 7 ルルブル通信の発行(5回) 8 紙芝居演劇上演(20回)	1 総会の開催(講演会等) 2 優良活動団体の表彰 3 平成24年度受賞団体(12団体)の取組実践紹介パネル作成・展示 4 会員団体の取組の紹介 5 パンフレットの作成と配布 6 教材(DVD)の制作と配布 7 紙芝居演劇の上演(40回) 8 啓発物品の作成と配布 9 マスメディアを活用した普及啓発 10 会員団体の募集・勧誘, 会員の自主的取組の促進 11 ルルブル通信の発行(6回)	2,620	35,620
8 夜間定時制高等学校夜食実施事業 (スポーツ健康課)	夜間定時制課程を置く高等学校で働きながら学ぶ青少年の心身の健全な発達に資するため, 夜間給食を実施した。 ・完全給食6校, 補食給食2校で実施	夜間定時制課程を置く高等学校で働きながら学ぶ青少年の心身の健全な発達に資するため, 夜間給食を実施する。 ・完全給食6校, 補食給食2校で実施	7,930	7,158
9 中学校給食費 (スポーツ健康課)	県立中学校において, 要保護及び準要保護生徒に対して学校給食費を扶助し, 学校給食の推進を図った。 ・完全給食1校, ミルク給食1校で実施	県立中学校において, 要保護及び準要保護生徒に対して学校給食費を扶助し, 学校給食の推進を図るもの。 ・完全給食1校, ミルク給食1校で実施	682	814
10 特別支援学校給食実施事業 (スポーツ健康課)	県立特別支援学校において児童・生徒の心身の健全な発達に資するため学校給食を実施した。 ・15校で完全給食を実施	県立特別支援学校において児童・生徒の心身の健全な発達に資するため学校給食を実施する。 ・15校で完全給食を実施	6,714	6,907
11 特定給食指導事業 (健康推進課)	特定多数に対して継続的に食事を提供する特定給食施設等への助言指導, 給食関係者等の研修及び喫食者健康教育を行い, 給食の質の向上を図るとともに, 喫食者の健康増進を図った。 1 特定給食施設等への行政指導(439件) 2 給食施設従事者研修会(11回, 878人参加)	特定多数に対して継続的に食事を提供する特定給食施設等への助言指導, 給食関係者等の研修及び喫食者健康教育を行い, 給食の質の向上とともに, 喫食者の健康増進を図る。 1 特定給食施設等への行政指導 2 給食施設従事者研修会	575	524
12 生産物即売交流会 (東部地方振興事務所)	石巻合同庁舎2階において生活研究グループ員が生産した地場産農産物を利用した加工品(弁当・惣菜等)・野菜等を週4回販売し, 消費者との交流を深めた。また, 農村青少年クラブ員による地場産農産物の即売会を10回行った。	石巻合同庁舎2階において生活研究グループ員及び農村青少年クラブ員が生産した農産物や農産加工品を即売を通じ地場産農産物の理解を図る。	非予算	非予算
13 作って食べよう教室 (東部地方振興事務所)	生活研究グループ員が水押保育所へ出向き, 食育指導支援を行った(1回)	生活研究グループ員が出向いて, 地元農産物の料理方法・郷土料理について支援する	非予算	非予算

【重点施策2:五感を使った食育の推進】

プラン3 楽しく食べる環境づくり プラン2 体験を通じた食育の推進

事業名	平成24年度の実施状況及び成果	平成25年度の計画	予算額(千円)	
			24年度当初	25年度当初
1 子どもの健康を育む総合食育推進事業(国委託事業) (スポーツ健康課)	栄養教諭が中核となって、学校の内外において、家庭や地域との連携を図りながら、地域食育推進事業を実施し、研修会において前年度の取組について実践発表を行い周知を図った。 1 学校給食関係者等を対象とした、学校給食研修会の開催 2 学校における食育関係者等を対象とした、食に関する指導推進研修会の開催 3 食育推進地域の指定(蔵王町, 大崎市)	栄養教諭が中核となって、学校の内外において、家庭や地域との連携を図りながら、地域食育推進事業を実施し、前年度の取組について実践発表を行う。また、県発行の「食に関する指導・学校給食の手引き」の改訂を行う。 1 食に関する手引き・学校給食の手引き改訂 2 学校給食研修会の開催 3 食に関する指導推進研修会の開催 4 食育推進地域(多賀城市)	2,399	2,309
2 みやぎの田園環境教育支援事業 (農村振興課)	1 地域や学校教育と連携した農村環境保全等の協働活動への支援(回) 49回 2 地域や学校教育と連携した農村環境保全等の協働活動に参加した人数(人) 2,771人	農業・農村の持つ魅力などを再認識してもらうとともに、農村環境保全に係る意識の醸成を図るため地域や学校教育と連携し、田んぼの生き物調査、小学校総合学習への支援を行う。	非予算	非予算
3 グリーン・ツーリズム促進支援事業 (農村振興課)	1 みやぎグリーン・ツーリズムアドバイザー現地指導実施 23回 2 体験学習等による農林漁家民泊の推進	市町村等が実施するグリーン・ツーリズム活動への助言指導と関係団体への人材派遣による現地指導等のほか、民間主導の協議会運営を支援する。	5,332	3,128
4 子ども農業体験学習推進事業 (農業振興課)	小中学校における農業体験学習の取組支援 1 小・中学校教員に対する農業セミナー開催 H24.8.7 園芸コース(開催地:名取市, 参加者:20人) H24.8.9 作物コース(開催地:大崎市, 参加者:17人) H24.8.9~10 豊かな体験活動研修会 (開催地:加美町, 参加者:8人) 2 「農業体験学習について考えるセミナー」開催 H24.12.26 自治会館(参加者:教員及び関係機関22人) 3 農業体験学習モデル校支援 大崎市立富永小学校(担当:大崎農業改良普及センター) 学校農園での大豆栽培～豆腐加工体験の一連の取組を支援	小中学校における農業体験学習の取組支援 1 小・中学校教員に対する農業セミナー開催(夏休み期間 2回) 2 農業体験学習アンケート実施(9月) 3 農業体験学習モデル校支援 大崎市立富永小学校(担当:大崎農業改良普及センター) ※H24より継続	736	526
5 黎明田畑を活用した農業体験学習 (北部地方振興事務所)	古川黎明中学校へ田植えや稲刈りなどの農業体験や学習発表会の開催支援を行った。 1 農業体験 6回(5~11月 3学年×2回) 2 発表会 1回(3月)	古川黎明中学校へ田植えや稲刈りなどの農業体験や学習発表会の開催支援を行う。	非予算	非予算
6 子ども農業体験学習推進事業 (北部地方振興事務所)	大崎市内の小学校1校(大崎市立富永小学校(5年))をモデル校に指定し、大豆の栽培・加工に係る農業体験や学習発表会の開催支援を行った。 1 農業体験 4回(6~1月) 2 発表会 1回(3月)	大崎市内の小学校1校をモデル校に指定し、大豆の栽培・加工に係る農業体験や学習発表会の開催支援を行う。	84	80
7 みやぎ出前講座「農業体験学習等への支援」 (東部地方振興事務所)	1 石巻市立蛇田小学校:稲作(田植え)に関する授業, 田植え及び稲刈り支援 2 前谷地小学校:田植え支援	石巻市立蛇田小学校・前谷地小学校への農業体験学習の支援 (通年:田植え, 稲刈り, 脱穀等の体験や学習)	非予算	非予算
8 協働教育基盤形成事業 (生涯学習課)	協働教育基盤形成事業 1 子育てサポーター養成講座 2 子育てサポーターリーダー養成講座 3 お父さんたちのネットワーク会議 ※基本的な生活習慣や食に関して学ぶ機会を提供する。 4 ホームページでの情報提供	協働教育基盤形成事業 1 子育てサポーター養成講座 2 子育てサポーター・サポーターリーダーフォローアップ研修会 3 ホームページでの情報提供	1,088	2,846

【重点施策3:「食材王国みやぎ」の理解と継承】

プラン5 地産地消の推進 プラン6 食文化の伝承

事業名	平成24年度の実施状況及び成果	平成25年度の計画	予算額(千円)	
			24年度当初	25年度当初
1 食育・地産地消推進事業 (食産業振興課)	<p>1 地産地消の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消意識の普及啓発 各種イベント, 民間企業と連携した情報発信。 高校生地産地消お弁当コンテストの開催。応募総数101件。 ・地産地消推進店の募集・利用拡大 登録数224店舗(H25.2月末現在)。 復興応援キャンペーンによるPRを実施。 ・協議会等が実施する地産地消推進活動への支援。 <p>2 県産食材の理解促進・利用拡大に向けた宮城の「食」の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材王国みやぎ「伝え人」登録数30者(H25.2月末現在) ・宮城の『食』の魅力を学ぶ講習会の開催 	<p>地産地消の取組を全県的に推進し, また, 食について自ら考える習慣を身に付ける「食育」を進め, 県内で生産される農林水産物への一層の理解の向上やその消費・活用の促進を図る。</p> <p>1 地産地消の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消意識の普及啓発 ・地産地消推進店の募集・利用拡大 ・協議会等が実施する地産地消推進活動への支援 <p>2 県産食材の理解促進・利用拡大に向けた宮城の「食」の発信</p>	3,710	3,337
2 みやぎの食料自給率向上運動事業 (食産業振興課)	<p>食料自給率について認知度の向上を図り, その向上に向けた取組を促進するため, 関係団体と連携し, 「みやぎ食料自給率向上県民運動」を展開した。</p> <p>1 みやぎ食料自給率向上県民運動標語</p> <p>①募集: 9月～10月, 応募総数4, 567点</p> <p>②活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最優秀賞作品を掲載したポスター20, 000枚を県内に配布 <p>2 広報・啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座およびイベント等でのパネル展示 ・情報誌等での県民運動の紹介 ・「みやぎ食料自給率向上県民運動参考資料」の作成・配布 ・関係機関との連携によるイベントへの参加 ・小学生向け学習教材の提供 	<p>食料自給率について認知度の向上を図り, その向上に向けた取組を促進するため, 関係団体と連携し, 「みやぎ食料自給率向上県民運動」を展開する。</p> <p>1 みやぎ食料自給率向上県民運動標語の募集・活用</p> <p>2 パネル展示・出前講座の開催等による広報活動</p> <p>3 教員や栄養士が活用する学習用資料の作成</p> <p>4 「食料自給率向上現場見学ツアー」の開催</p>	1,700	1,767
3 宮城米広報宣伝事業 (食産業振興課)	<p>環境保全米やプレミアムひとめぼれ みやぎ吟撰米を始めとする宮城米のイメージアップ, 販売及び消費拡大のためのTVCMや雑誌広告, 首都圏等大消費地でのPRイベントなどを実施し, 広報宣伝事業の支援を行った。</p>	<p>復興3年目となり宮城米の生産量の増加が見込まれることから, 宮城米マーケティング推進機構が実施する宮城米の広報宣伝活動事業に加え, 首都圏等大消費地へ直接, 宮城県産米を売り込むための販売支援活動を実施し, 安全性の理解と評価高揚及び消費拡大を推進する。</p>	15,390	14,522
4 みやぎの園芸・畜産物消費拡大事業 (食産業振興課)	<p>仙台牛銘柄推進協議会及び宮城野豚銘柄推進協議会, 宮城県園芸作物ブランド化推進協議会の3団体が実施する消費拡大等に係る事業に対して, 事業費の一部補助を行い, 畜産物並びに園芸作物の風評払拭と消費拡大等を図った。</p>	<p>消費拡大等に係る事業を実施する関係団体の事業費の一部補助を行うことにより, 「仙台牛」をはじめとする県産牛肉及び宮城野豚等の県産豚肉の銘柄確立と認知度向上, 流通・消費の拡大を推進するとともに, 県産園芸作物のブランド化の推進と消費の拡大を図る。</p>	5,244	4,976
5 みやぎまるごとフェスティバル開催事業 (食産業振興課)	<p>平成24年10月13日(土)～14日(日)の2日間 開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総団体数113団体 ・総テント数152テント ・来場者数 2日間延べ13万5千人 	<p>県産の農林水産品, 畜産品, 食品加工品, 民芸品等の展示, 即売を行い, 震災の大被害を受けた水産品を含む「食材王国みやぎ」の復活を応援し, また, 消費者との交流を通じ, 農林水産業, 食品製造業, 民芸品製造業等への理解を深め, 県産品への魅力を再認識してもらおう。</p> <p>1 市町村特産品, 伝統的工芸品の展示即売</p> <p>2 生鮮野菜, 海産物, 新米, 畜産物などの販売</p> <p>3 農産加工者の手作り加工品, 花などの展示販売等</p>	5,000	5,000
6 地域食材発掘・販路拡大事業 (食産業振興課)	<p>県庁1階玄関ホールにおいて地域の食材を展示・即売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 38週 ・実施団体数 20団体 	<p>「食材王国みやぎ」の展開の一つである「地産地消」をより実践推進するため, 県庁1階玄関ホールを活用し, 地域の特色ある食材を発掘するとともに都市部での販路拡大の可能性を探るため市町村や地方振興事務所(地域事務所)を主体とした展示・販売会を定期的に実施する。</p>	非予算	非予算

事業名	平成24年度の実施状況及び成果	平成25年度の計画	予算額(千円)	
			24年度当初	25年度当初
7 県産ブランド品確立支援事業 (食産業振興課)	1 認証基準策定・認証 ・新規申請 8事業者 19商品 ・更新申請 5事業者 12商品 認証食品の普及啓発 ・県庁1階観光コーナーや県政広報室での展示 ・みやぎまるごとフェスティバルでの展示 ・青葉区中央市民センター「ふれあい祭り」での展示 ・歯科技工士会発行の月刊誌での紹介 2 「食材王国みやぎ」フェアの開催 首都圏等の有名ホテルで宮城の豊富な食材をPR 3 みやぎ食材出合いの旅 首都圏のスーパーマーケットやホテル、県内ホテル等の調理人等と生産者等のマッチング	1 認証基準策定・認証 消費者ニーズの多様化・高度化に対応するため、県内産の原材料を使用し、県内で製造した地域特産品について公的な認証を行うことにより、消費者の信頼を高め、食品産業の振興を図る。 ○認証基準策定・認証 ・新たな地域特産品の認証基準策定 ・認証基準に適合した食品の認証 ○認証食品の普及啓発 ・県政だよりによる認証品目の紹介 ・販売フェア、イベント等での展示PR 2 「食材王国みやぎ」フェアの開催 首都圏等の有名ホテルで宮城の豊富な食材をPR 3 みやぎ食材出合いの旅 県内外の有名ホテル等の料理人、百貨店や高質スーパー等の仕入担当者をターゲットとし、本県の食材の利用促進を図ることで、「食材王国みやぎ」の知名度及び付加価値向上を図る。	9,525	7,639
8 地域イメージ確立推進事業 (食産業振興課)	「食材王国みやぎ」情報発信事業 各サイトの効率的・効果的な運営と情報発信力の充実・強化に向けた、旧食材王国みやぎホームページの再構築を実施。	「食材王国みやぎ」情報発信事業 食関連情報サイト「宮城の食の総合ウェブサイト」の効率的・効果的な運営と情報発信力の充実・強化を図る。また、新サイトの運用強化と販売サイトとの連携を強化する。	9,534	2,878
9 学校給食地産地消推進事業 (農産園芸環境課)	県産食材の学校給食での利用促進のため、以下の事業を実施した。 1 各圏域で学校給食における地産地消の取組に関する現地調査を行い、報告書を作成するとともに、需要と供給のマッチングのための取組支援を行った。 2 「すくすくみやぎっ子みやぎのふるさと食材月間」普及啓発 3 学校給食地産地消活用状況調査の実施 ・学校給食での地場産野菜等利用品目割合 24.4% 4 学校給食地産地消推進事業担当者研修会 ・富谷町、村田町における取組について研修	県産食材の学校給食での利用を拡大することにより、県内農林水産業の振興と小中学校児童生徒の本県第一次産業に対する理解促進、農業者の生産意欲向上に寄与する。 1 需要と供給のマッチングのための取組支援 ・調理場現地調査を行うとともに、活動の取組の支援 ・調査した事例をとりまとめ、資料を作成 ・生産者を対象とした学校給食調理現場見学会の開催 ・「すくすくみやぎっ子みやぎのふるさと食材月間」普及啓発 2 学校給食地産地消研修会の開催	411	407
10 宮城米学校給食実施事業 (農産園芸環境課)		学校給食には「みやぎ米飯給食支援方式」により本県産ひとめぼれ1等米を提供し、「日本型食生活」の普及を図っているが、不作等により米価が急騰した場合、その掛かり増し経費の一部を負担するもの。	500	100
11 仙南地域地場農産物等PR (大河原地方振興事務所)	仙南地域で生産される農産物及び加工品の利用拡大を図るとともに、生産者と利用者・消費者間の交流の場を提供した。 1 仙南地域地場農産物等販売交流会の開催 6回 2 大河原合同庁舎広報誌による地場農産物の紹介 4回	仙南地域で生産される農産物及び加工品の利用拡大を図るとともに、生産者と利用者・消費者間の交流の場を提供する。 1 仙南地域地場農産物等販売交流会の開催 2 大河原合同庁舎広報誌による地場農産物の紹介	非予算	非予算
12 地域産業振興事業(仙南産畜産物(豚肉)を活用した名物料理の創出&PR事業) (大河原地方振興事務所)	畜産の主産地にふさわしい仙南の名物料理を開発し、地元畜産物の地産地消を拡大するため、特産である豚肉等を活用した料理の掘り起こしと開発及び普及PRを図った。 1 仙南産豚肉(4銘柄)使用新メニューの開発 4店舗、8品 2 仙南の豚肉を活用したメニューお披露目会の開催 ブランド創造会議委員、県民一般モニター等 62人 3 リーフレット「仙南の豚肉料理を召し上がれ」の作製、配布 3万部		650	-
13 地域産業振興事業(みやぎ蔵王三十六景推進事業) (大河原地方振興事務所)	1 「地域の逸品」販売促進事業 「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」の推奨 新規1品 2 みやぎ三十六景旨いもの市開催事業 みやぎ三十六景旨いもの市の開催 2日間、延べ来場者5,000人 3 【新規】みやぎ蔵王三十六景食の態勢整備事業 「(仮称)仙南うまいもの祭」開催検討会議の開催 1回	1 「地域の逸品」販売促進事業 「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」の推奨、販売促進 2 【新規】うまいもの祭開催事業 仙南うまいもの祭の開催	339	1,273

事業名		平成24年度の実施状況及び成果	平成25年度の計画	予算額(千円)	
				24年度当初	25年度当初
14	地域産業振興事業(仙南地域 食の魅力発信と観光誘客促進事業) (大河原地方振興事務所)	【新規】地域食材を活用している管内の食品製造施設等を巡るバスツアーを実施し、製造過程の見学や体験等を通じて仙南の食の魅力を発信し知名度アップを図るとともに、復興支援としての観光誘客の促進に向けた新たな観光ツアーコース開発の可能性を探った。 1 食品製造工場見学バスツアーの実施 19人 2 ツアー商品化の旅行会社への提案		153	-
15	仙台地域食材PR事業 (仙台地方振興事務所)	実需者や消費者へ多様な情報発信を行うことにより、仙台地域の食材利用を促進するとともに生産拡大・地産地消の推進を図った。 1 食材情報のPR 震災後の復興状況を加味した食材カレンダーの作成及び情報提供 仙台の伝統的な野菜「白菜」「仙台ねぎ」を活用した料理講習会の開催 2 食材情報誌「河北 しゅん」等への掲載 いちご、かき、ぶりなど復興した食材情報を年間6回12品掲載 3 「ハタケシメジ」販売促進 販売会(2店舗)によるPR、レシピ集、ミニのぼり作成		616	-
16	地域食材利活用推進事業 (仙台地方振興事務所)		【新規】実需者や消費者へ多様な情報発信を行うことにより、仙台地域の食材利用を促進するとともに地産地消推進を図る。 1 地域の食材発掘・PR 2 食材情報誌「河北 しゅん」等への情報提供 3 みやぎ食材伝導士による食材PR(料理教室等) 4 塩竈地域の水産加工品フェア(水産練り製品)開催による魚食PR 5 仙臺鍋まつりとおでんまつり(仮称)による仙台地域食材PR及び販路拡大	-	1,550
17	大崎ふれあい市事業 (北部地方振興事務所)	大崎地方の農林産物や加工品のPRと消費者との交流を図るため、大崎市の風物詩「古川八百屋市」と大崎地域の農産加工品等販売の「大崎ふれあい市」との合同市を春・秋計4回、仙台市勾当台公園において開催した。 春 5月31日、6月1日(18団体)、6月13・14日(16団体)、 秋 10月17・18日(21団体)、11月8・9日(19団体) ※()は出店団体数	大崎地域の農林産物や加工品のPRと消費者との交流を図るため、大崎市の風物詩「古川八百屋市」と大崎地域の農産加工品等販売の「大崎ふれあい市」との合同市を春・秋、計3回、仙台市勾当台公園において開催する。 春 5月31日、6月18日・19日 秋 10月30日・10月31日	非予算	非予算
18	地域産業振興事業(おおさき食発掘・食材活用事業) (北部地方振興事務所)	地域資源(食材、郷土料理等)を活用した新たな魅力商品創造や「食」による地域活性化を図り、また、地域の食文化を見つめ直し、地場産食材の利用拡大による地産地消をさらに推進するため、以下の事業により組んだ。 1 ご当地グルメ講座(6月7日) 2 おおさき食材利活用促進に向けた現地調査・見学会(6月16日) 3 おおさき料理対決の開催(2月3日)	地域資源(食材、郷土料理等)を活用した新たな魅力商品創造や「食」による地域活性化を図る。また、地域の食文化を見つめ直し、地場産食材の利用拡大による地産地消をさらに推進する。 1 「食楽まつり2013」の開催支援 2 大崎食材PR・利用促進活動	430	419
19	地域産業振興事業(おおさき「食」・「農」魅力度向上事業) (北部地方振興事務所)		【新規】大崎地域では魅力ある地域食材や農業体験など農業の創意工夫による取組が展開されているが、こうした農業現場を見学するモニターツアー等を実施して大崎地域の食材等地域資源の魅力を消費者にPRする。また、モニターによる評価等をフィードバックして商品開発や販売拡大等に役立てるなど新たな事業展開を目指す農業者を支援する。 1 大学生を対象にした食材等調査見学会の開催 2 農産物直売所モニターツアーの開催 3 農業体験モニターツアーの開催	-	259
20	OSAKI地域食材PR・販路拡大事業 (北部地方振興事務所)	東日本大震災による影響で低迷した農産物等の消費回復及び風評被害の払しょくに向けて大崎地域食材のPR及び販路拡大を図るため、効果的なPRイベントの開催や情報発信等を緊急雇用創出事業を活用して実施した。 1 Webサイト「おいしいね！OSAKI」の開設 2 ブログによる食の情報発信 53回 3 マルシェ・ジャポン・センダイのへ出展 9月8日・9日		8,000	-
21	おおさき「食」の情報発信・誘客促進事業 (北部地方振興事務所)		【新規】福島第一原子力発電所事故等によって低迷した農産物等の消費回復や直売所等産地消関連施設への利用客回帰を図るため、民間事業者からの企画提案により効果的な情報発信及び誘客につながるイベント等を実施する事業を行う。	-	7,000

事業名	平成24年度の実施状況及び成果	平成25年度の計画	予算額(千円)	
			24年度当初	25年度当初
22 栗原合同庁舎つきまつ金曜の市 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)	栗原合同庁舎の1階県民ロビーを地元の食品生産者に開放し、物産市を開催することにより、地域の地産地消を推進した。 平成24年度は5月～12月、毎月末の金曜日に開催し、延べ約40店が出店した。		非予算	-
23 地域産業振興事業(栗原の地域産品認知度アップ事業) (北部地方振興事務所栗原地域事務所)	1 栗原地域産品フェア 栗原で開発された農商工連携商品を中心とする加工食品のPR展示即売会「くりはら地域産品フェア」を仙台市内で開催し、地産地消を推進した。 ・開催日:平成24年9月15・16日, 10月20・21日, 11月10・11日 2 栗原の食魅力再発見セミナー 栗原の食材や、風土に育まれた「栗原の食」を発見し、再認識する場としてセミナーを開催した。 ・開催日:平成25年3月8日 ・内容 (1) 基調講演 ①「観光資源としてのご当地グルメ『十和田バラ焼き』によるまちおこし」 講師 十和田バラ焼きゼミナール舌校長 畑中 宏之氏 ②『十和田バラ焼き』の試食及び説明 十和田バラ焼きゼミナール 畑中 宏之氏・妻神 誠司氏 (2)ワークショップ「栗原の「食」探し ～「食」で栗原の魅力アップ!～」	1 昨年度に引き続き、栗原で開発された農商工連携商品を中心とする加工食品のPR展示即売会「くりはら地域産品フェア」を仙台市内で開催し、地産地消を推進する。 2 昨年度に引き続き、栗原の食材や、風土に育まれた「栗原の食」を発見し、再認識する場として開催する。また、昨年度のワークショップで挙げられた「食」の素材を観光資源として磨き上げるとともに、活用を検討する。	330	390
24 そば食育講座 (東部地方振興事務所)	東松島市鳴瀬小学校・小野小学校・浜市小学校・宮戸小学校へのそば食農学習支援(12月実施, 学習および調理実習)	廃止(みやぎ出前講座「農業体験学習等への支援」で対応)	非予算	-
25 地域産業振興事業(登米地域の「食」による観光復興支援事業) (東部地方振興事務所登米地域事務所)	登米地域の「食」による観光復興支援事業の一環として実施した。 ・魅力ある新メニュー・新商品の開発 地場産食材を活用した新商品「登き米きバーガー」の開発に取組み、地産地消を推進した。(3者7品試作検討, 2者3商品販売) 3/18 新商品お披露目会開催	登米地域の「食」による観光復興支援事業の一環として実施する。 ・登米市観光モニターツアー 「はっと」「油麩」「油麩井」など、多彩な登米の食の魅力を活かしたモニターツアーを実施し、新たな観光ツアーや観光ルートを検討・構築する。	232	300

【重点施策4:食の安全安心に配慮した食育】

プラン7 安全安心な食品の供給 プラン8 食の安全安心に係る信頼の確立

事業名	平成24年度の実施状況及び成果	平成25年度の計画	予算額(千円)	
			24年度当初	25年度当初
1 みやぎ食の安全安心県民総参加運動(食と暮らしの安全推進課)	<p>「安全で安心できる食」の実現を目指し、食の安全安心確保対策が持続的かつ着実に図られるよう、県、生産者・事業者及び消費者の協働した取組みとして、「みやぎ食の安全安心県民総参加運動」を推進した。</p> <p>1 食の安全安心消費者モニター制度事業</p> <p>①消費者モニターの登録(774名)</p> <p>②モニターだよりの発行(3回)</p> <p>③食品表示モニタリング調査(100名に委嘱)</p> <p>④アンケート調査(1回(7月))</p> <p>⑤食品工場見学会、生産者との交流会の開催(各1回)</p> <p>⑥研修会の開催(1回)</p> <p>2 食の安全安心取組宣言事業</p> <p>①取組宣言者の登録 事業者3,176者、生産者65,718者</p> <p>②H23年度事業実施状況報告の取りまとめ</p> <p>3 食の安全安心相互交流理解度アップ事業</p> <p>①食の安全安心セミナーの開催(1回)</p> <p>②地方懇談会の開催(5回)</p>	<p>1 食の安全安心消費者モニター制度事業</p> <p>①消費者モニターの登録</p> <p>②モニターだよりの発行(3回)</p> <p>③食品表示モニタリング調査(100名に委嘱)</p> <p>④アンケート調査(1回)</p> <p>⑤食品工場見学会、生産者との交流会の開催(各1回)</p> <p>⑥研修会の開催(1回)</p> <p>2 食の安全安心取組宣言事業</p> <p>①取組宣言者の登録</p> <p>②H24年度事業実施状況報告の取りまとめ</p> <p>3 食の安全安心相互交流理解度アップ事業</p> <p>①食の安全安心セミナーの開催(3回)</p> <p>②地方懇談会の開催</p>	2,602	2,507
2 食中毒予防啓発事業(食と暮らしの安全推進課)	<p>食中毒が発生しやすい夏場時期を食中毒予防月間として、啓発事業、監視指導、衛生講習会を実施した。特に食品事業者に対し、生食用食肉の基準設定と漬物物の衛生規範改正について、周知し、取扱いの徹底を指導した。</p> <p>また、ねんりんピックの開催に向け、旅館及び民宿、仕出し、弁当などの製造施設の巡回指導を強化した。</p> <p>1 広報活動の実施</p> <p>①食中毒予防街頭パレード、イベント会場・大型量販店等での食中毒予防キャンペーン</p> <p>②県・市町村広報誌への食中毒予防啓発記事の掲載</p> <p>③腸炎ビブリオ食中毒注意報の発令と各保健所前に垂れ幕の掲示</p> <p>④ホームページへの食中毒予防法等の掲載</p> <p>2 チラシによる広報</p> <p>県作成の食中毒予防チラシ配付 15,000 枚</p> <p>3 監視及び指導等の強化</p> <p>・監視件数 1,514件 巡回件数 3,719件</p> <p>集団給食施設(学校・福祉施設等)、大型調理施設(弁当・仕出し等)、旅館及び民宿、生食用食肉取扱施設などの監視</p> <p>4 営業者及び消費者に対する講習会 33回 参加者1,346名</p>	<p>食中毒が発生しやすい夏場時期を食中毒予防月間として、啓発事業、監視指導、衛生講習会を実施することにより、食中毒の発生を未然に防止するもの。</p> <p>今年度は、消費者に対し、食肉の生食に関する注意と、牛、豚の肝臓の生食禁止について広報啓発を実施する。</p> <p>1 広報活動の実施</p> <p>①食中毒予防街頭パレード、イベント会場・大型量販店等での食中毒予防キャンペーン</p> <p>②県・市町村広報誌への食中毒予防啓発記事の掲載</p> <p>③腸炎ビブリオ食中毒注意報の発令と各保健所前に垂れ幕の掲示</p> <p>④ホームページへの食中毒予防法等の掲載</p> <p>2 チラシによる広報</p> <p>県作成の食中毒予防チラシ配付 15,000 枚</p> <p>3 監視及び指導等の強化</p> <p>集団給食施設(学校・福祉施設等)、大型調理施設(弁当・仕出し等)、旅館及び民宿、生食用食肉取扱施設などの監視</p> <p>4 営業者及び消費者に対する講習会</p>	468	468
3 安全・安心のための学校給食対策事業(スポーツ健康課)	<p>児童生徒等のより一層の安全・安心確保の観点から、学校給食における放射性物質の有無や量について把握するため、学校給食用食材食材の事前サンプル測定及び学校給食一食全体の事後モニタリング検査を行った。</p> <p>1 学校給食用食材のサンプル測定(簡易測定による事前測定)</p> <p>(2月末現在、2,011検体測定。すべて精密検査の目安(50Bq/kg)以下。3月22日まで継続。)</p> <p>2 学校給食モニタリング検査(ゲルマニウム半導体検出器による事後検査)</p> <p>(9月24日～2月8日まで実施。全296検体検査。すべて不検出。)</p>	<p>児童生徒等のより一層の安全・安心確保の観点から、学校給食における放射性物質の有無や量について把握するため、学校給食用食材食材の事前サンプル測定及び学校給食一食全体の事後モニタリング検査を継続して行う。</p>	2,000 (6月補正)	5,201
4 みやぎ出前講座「環境に優しい農業における制度紹介講座」(東部地方振興事務所)		<p>希望が有る場合は県担当職員が出向き、「みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度」・「エコファーマー」などの制度を紹介する。</p>	非予算	非予算

【重点施策5:みんなで支えあう食育】

プラン9 食育支援ネットワークの強化 プラン10 食育推進体制の充実

事業名	平成24年度の実施状況及び成果	平成25年度の計画	予算額(千円)	
			24年度当初	25年度当初
1 みやぎの食育普及啓発事業 (健康推進課)	みやぎの食育を県民運動として展開し、県民一人ひとりの意識の高揚と機運の醸成を図るため、様々な場面で、集中的な普及・啓発活動を実施した。 1 みやぎまるごとフェスティバルにおける「食育コーナー」の設置(10月。1,790人來場) 2 食育フォーラムの開催(11月。250人参加) 3 普及啓発活動(HPによる情報提供、県庁食堂における普及啓、県庁ロビーにおけるパネル展示 等)	みやぎの食育を県民運動として展開し、県民一人ひとりの意識の高揚と機運の醸成を図るため、様々な場面で、集中的な普及・啓発活動を実施する。 1 みやぎまるごとフェスティバルにおける「食育コーナー」の設置(10月。740人來場) 2 食育フォーラムの開催(11月。400人参加) 3 普及啓発活動(HPによる情報提供、県庁食堂における普及啓、県庁ロビーにおけるパネル展示 等)	1,178	1,216
2 みやぎの食育連携事業 (健康推進課)	食育関連の人材を登録制度による人材の活用と育成支援 1 みやぎ食育応援団への人材の登録(200人)と活動支援 2 みやぎ食育コーディネーター養成講座、圏域別研修会(20回) 3 地域の食育推進事業の実施(7圏域)	食育関連の人材を登録制度による人材の活用と育成支援 1 みやぎ食育応援団への人材の登録(200人)と活動支援 2 みやぎ食育コーディネーター養成講座、圏域別研修会 3 地域の食育推進事業の実施(7圏域)	1,181	1,128
3 みやぎの食育推進事業 (健康推進課)	宮城県食育推進会議等を開催し、宮城の特性を行かした食育の総合的かつ計画的な推進を図った。 1 宮城県食育推進会議(県)の開催(1回) 2 食育推進連絡会議(7圏域)の開催	宮城県食育推進会議等を開催し、宮城の特性を行かした食育の総合的かつ計画的な推進を図る。 1 宮城県食育推進会議(県)の開催 2 食育推進連絡会議(7圏域)の開催	692	402
4 栄養士・調理師研修会 (健康推進課)	県内行政栄養士の資質向上のため、県で研修会を開催するなど栄養士の資質向上を図った。 1 管理栄養士・栄養士研修会の開催(1回) 2 学術研修会への派遣	県内行政栄養士の資質向上のため、県で研修会を開催するなど栄養士の資質向上を図るもの。 1 県行政栄養士業務検討会の開催(4回) 2 学術研修会への派遣	219	317
5 学校栄養職員研修事業費 (教職員課)	学校栄養職員、栄養教諭の専門職としての知識や技術に関する研修を行い、その資質の向上を図る。 1 新規採用者研修 学校栄養職員 1名7日間、栄養教諭 9名3日間 2 学校栄養職員経験者研修 5年経過 7名4日間、10年経過 7名7日間 3 栄養教諭経験者研修 5年経過 10名3日間 4 食育指導者養成研修派遣(つくば会場)2名4日間	学校栄養職員、栄養教諭の専門職としての知識や技術に関する研修を行い、その資質の向上を図る。 1 新規採用者研修 学校栄養職員7日間、栄養教諭4日間 2 学校栄養職員経験者研修 5年経過4日間、10年経過7日間 3 栄養教諭経験者研修 5年経過3日間 4 食育指導者養成研修派遣(つくば会場)2名4日間	878	898
6 学校給食管理指導事業 (スポーツ健康課)	学校給食における衛生管理、栄養管理、地場産物利用、食に関する指導等の推進、充実を図った。 1 栄養教諭・学校栄養職員等の全国的な研修会・講習会への派遣等を行った。 2 学校給食施設衛生管理等巡回訪問を実施(全13施設)した。	学校給食における衛生管理、栄養管理、地場産物利用、食に関する指導等の推進、充実を図る。 1 栄養教諭・学校栄養職員等の全国的な研修会・講習会への派遣等 2 学校給食施設衛生管理等巡回訪問の実施(18施設予定)	372	471
7 学校保健研修事業 (スポーツ健康課)	教職員を対象とした研修を実施し、教職員の資質向上及び学校保健の充実を図った。 ・学校保健研修会の開催 ・宮城県学校保健・安全研究大会の開催	教職員を対象とした研修を実施し、教職員の資質向上及び学校保健の充実を図る。 (平成24年度まで実施していた学校保健研修会は25年度より総合教育センターへ事業移管) ・宮城県学校保健・安全大会の開催	444	398
8 栄養教諭の採用 (教職員課)	学校給食管理及び食に関する指導の一体化を目指し、栄養教諭を採用配置することによって、食育推進を図る。 ・栄養教諭新規採用4名(3市1特別支援学校 仙台市含む)	食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけさせるための食育指導を充実させるため、栄養教諭を採用配置することで、食育推進を図る。	非予算	非予算